

大学の近況

二〇一〇年度 学位授与式

二〇一〇年度学位授与式（九月卒業）が九月二十五日、本館大講堂で行われました。十二名が出席し、和やかに式が進められました。工学論文博士一名と、卒業生十八名の計十九名に学位記が授与されました。学部卒業生数の内訳は左記のとおりです。



卒業生数	経済学部	5名
	文学部	8名
	法学部	5名

平成二十二年 新司法試験 本学から十一名が合格

九月九日、法務省より第五回「新司法試験」の結果が公表されました。

合格者の声

成蹊大学法科大学院
2008年度入学
法学既修者

板野 祥典さん

少人数制の利点を 最大限に活かした教育と、温かい学習環境

私が本学法科大学院を志望した理由は、社会人から新卒者まで多様な背景をもった学生が集まっていること、定評ある教科書に基づいた少人数制教育が充実していること、の2点です。

本学では、大半の授業がソクラテス・メソッドを採用しております。学生は、事前に配付された事例と設問を予習した上で、授業に出席することを求められますが、授業においては、ただ設問に解答するのみでは足りません。解答に至った理由、自己の見解に対する反論への対応、関連問題など、先生から矢継ぎ早に追及されることになります。このような授業を通じて、自ら事案を分析する姿勢、争点を発見する能力、妥当な解決を導こうとする心構えを養うことができました。

今年実施された第5回新司法試験は、全国の受験生にとって厳しい結果となりました。そのなかで幸運にも合格することができたのは、熱意をもってご指導くださった先生方、快適に学習できるよう温かくサポートしてくださった事務室の方々、同じ目標に向かって切磋琢磨してきた学友達のおかげです。皆さま方により御礼申し上げます。

本学より授かった貴重な財産を公益のために役立てられるような法曹を目指して、研鑽を積みたくと考えております。

本学法務研究科（法科大学院）より九十三名が同試験を受験し、その結果、短答式試験の合格に必要な成績を得たのは五十六名、論述式試験を経て最終的に合格されたのは十一名（内訳：既修八名、未修三名）でした。合格された方には心からお祝い申し上げます。なお、法務省の発表によると、全国での総受験者数は八百六十三名、最終合格者は二千七十四名となっています。

オープンキャンパスが行われました

オープンキャンパスが七月三十一日・八月一日、十月三日に開催され、学科別の体験講義やガイダンス、入試相談会や在学生によるキャンパス見学ツアーといった多くのイベントが行われました。

成蹊会振興助成金（スポーツ・文化）贈呈式が行われました

大学の体育会と文化会に所属する在学生の活躍を期待し、成蹊会（卒業生団体）から毎年

「スポーツ振興助成金」と「文化振興助成金」を贈呈しています。

本年度の贈呈式は六月二十八日学園史料館二階研修室で行われ、十団体（後述）に対し「スポーツ振興助成金」が成蹊会スポーツ振興委員会の力石浩委員長（法三回卒）より手渡されました。力石委員長からは、母校のクラブ活動に対する卒業生の熱い期待が伝えられるとともに、四大学運動競技大会での活躍を祈念した激励もありました。また、「文化振興助成金」も三団体（後述）に贈呈されています。

成蹊会では、卒業生からの会費収入を原資として母校支援のための各種活動（育英奨学、学術・教育助成、スポーツ振興、国際交流、文化振興の各事業）を行っており、この助成もその一環として行われたものです。



◆スポーツ振興助成金（総額七十五万円）
剣道部／ラクロス部女子／ラグビーフットボール部／応援指導部／水泳部／蹴球部／アメリカンフットボール部／軟式野球部／ライフセービング部／ソフトボール部

◆体育会イベント助成（総額十五万円）
学内陸上／レガッタ

◆文化振興助成金（総額三十五万円）
文化会本部／櫻祭本部／新聞会

成蹊大学シェイクスピア・ウィーク開催

九月十八日から二十五日までの二週にわたり、「成蹊大学シェイクスピア・ウィーク」と題して、シェイクスピアをテーマとしたイベントを行いました。

十八日は「清水護英語教育助成資金講演会シェイクスピア喜劇の愉しみ方」と題し、文芸評

論家であり、本学で非常勤講師を務める小野俊太郎氏を講師にお迎えし、講演が行われました。



翌週の二十五日は「成蹊学園創立一〇〇周年記念事業 英国ケンブリッジ大学ペンブルック劇団公演」から騒ぎ／Much Ado about Nothing「〜」が開催され、当日は会場が満員となるほど大勢の方にお越しいただきました。ペンブルック劇団は出身者にハリウッド俳優もいるという本格的な学生劇団で、客席では本場のシェイクスピア劇を堪能できたことに賞賛の声があがっていました。

成蹊レガッタが開催されました

六月二十四日、戸田オリピックボートコースを会場に成蹊レガッタが開催されました。昭和四十四年に第一回大会が行われてから、今回で四十二回目となる今大会は、天候にも恵まれ、体育会の学生はもとより、普段スポーツに接する機会の少ない学生・教職員らも、みな熱戦を繰り広げていました。



吉祥寺ふれあい夏まつりに 本学学生が参加しました

今年で三十六回目を迎える「吉祥寺ふれあい夏まつり」が、七月二十二日・二十三日の二日間にわたり、東急百貨店吉祥寺店北側と西側広場で開催されました。



今年度は、成蹊大学ボランティア本部「Uni」と「成蹊フェアレンズ」の有志による学生が、成蹊学園創立一〇〇周年記念事業の学生企画として実行委員会に参加し、「フェアトレードコーヒー」やクッキーなどの販売や、成蹊学園創立一〇〇周年の告知活動に携わりました。この企画で得られた収益金は、フェアトレードの普及および地域交流を目的としたJICAアフリカ支援基金に寄付されることになっています。

ドラマ「美丘―君がいた日々―」が 本学で撮影されました



日本テレビ系列にて、7月より9月まで放送のドラマ「美丘―君がいた日々―」の撮影が、本学にて行われました。本学でのロケは、前半での美丘らの学生生活のシーンが中心となり、本館や3号館などが撮影に使用されました。

原作は成蹊大学出身の石田衣良氏で、主演の美丘役に吉高由里子さん、太一役に林遣都さんのほか、勝地涼さん、寺脇康文さん、谷原章介さん、真矢みきさんらが出演しました。

卒業生の皆さまへ 大学入試願書無料配付のお知らせ

書店等で販売中の2011(平成23)年度成蹊大学一般入学試験要項(願書)を、卒業生に無料で送りいたします。下記の方法でお申込ください。

- 1 願書請求方法：電話、FAX、メールまたは郵便にて
①氏名 ②住所* ③電話番号 ④最終卒業校(大学は学部)
⑤卒業年 ⑥必要部数 を成蹊会までご連絡ください。
※1 郵送先は成蹊会登録の住所となります。

TEL: 0422-51-2244 FAX: 0422-54-6766
e-mail: seikeikai@jim.seikei.ac.jp
社団法人成蹊会 大学入試願書無料送付係 宛
<申込先>

- 2 受付期限：2011年1月17日(月)
3 お問い合わせ先：成蹊大学入試センター 電話：0422-37-3533

2010年度後期公開講座 「むさしの 一昨日・今日・明日」

第1回 10月30日(土)	「ジャズと春樹と武蔵野と」 宮脇 俊文(経済学部教授)
第2回 11月27日(土)	「武蔵野の演劇文化」 箕島 裕二氏(前吉祥寺シアター支配人/現・まつもと市民芸術館プロデューサー兼支配人) 聞き手: 日比野 啓(文学部准教授)
第3回 12月4日(土)	「地図で読む武蔵野」 小田 宏信(経済学部教授)
第4回 12月11日(土)	「歴史から見た武蔵野」 光田 剛(法学部教授)
第5回 12月18日(土)	パネルディスカッション 「生まれ変わる吉祥寺と武蔵野の明日」 大橋 一範氏(週刊さちじょう編集長) 本田 拓夫氏(吉祥寺活性化協議会会長) 郡 護氏(前吉祥寺まちづくり事務所所長/現・武蔵野市企画政策室企画調整課課長) 司会: 見城 武秀(文学部准教授)

会場：成蹊大学8号館101室(各日共通)
時間：13時30分～15時30分(各日共通)
受講料：無料(申込不要)
どなたでもご参加いただけます。講演は各回ごとに完結しますので、ご希望の回だけの受講も可能です。
お問い合わせ先：成蹊大学 企画運営課
〒180-8633 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1
電話：0422-37-3535 FAX：0422-37-3883
URL：http://www.seikei.ac.jp/university/